雑　報

ケフェウス座 1971 年新星の確認について

7月11日の午後11時，三鷹（東京天文台）の香西氏から電話があり，大分の桑野氏がケフェウス座に光度8等の新天体を発見したと報じた．岡山の 74 インチは調整期間中でクーデ焦点で6等星の観測をつづけていたが，トレールをオペレーターのN氏にたのみ，早速概略位置を1855年になおしてボン星図のコピイにプロットした．当夜は断雲ごしに星がちらつく程度で 26 時にこの星の露出を終わり，新天体の方向に望遠鏡をむけた．6インチのファインダーの狭い視野の中ですら，星があちこちと点滅するので，確認は困難をきわめたが，27時にとにかくボン星図にない8等星をさがし出し，分光観測を開始，28時30分薄明にさえぎられてやめた．断雲ごしのスペクトルは明らかに露出不足で，一すじのわずかのトレースがみられただけで，新星との確認は保留しこれを香西氏に電話した．

翌日，香西氏は堂平へゆき，36インチに待機，三鷹では平山(智)氏が電報発信の待機姿勢に入った．この日岡山の 74 インチは調整スケジュール通り，クーデ焦点からニュートン焦点に替えられた．

昼の大雨のあと，夕方から晴れて星がきらめいているが，霧がはげしく流れて湿度が高い．24時，思い切ってドームをあけ，6インチファインダーでのぞくと，ボン星図の3星（+52° 3090，3092，3095）の画く三角形の外心位置にオレンジ色の星を確認，10分間B-観測を行なった．36インチでは Ic 氏によって8インチファインダーでこの星の確認が行なわれたが，減光の変動激しく測光観測はできなかった．三鷹からはただちに「クワノ新星」発見が打電されたが，一睡後，目をさますと「MATTEI 氏がHアルファ スペクトルを観測」とスミソニアンからの電報が岡山に転電されて来た．世界は狭いものであると痛感した．　（石田五郎）

ケフェウス座 1971 年新星の発見

大分県日田市の桑野善之氏は，1971年7月10日21時11分に撮影した2枚の写真上でケフェウス座の銀河の中に光度約8等の新星らしき像を発見し，7月11日21時44分に眼視観測で確認の後，直ちに東京天文台へ連絡された．桑野氏はこの星野の写真撮影を4月以降続けていて，それぞれ2回の露出がされているため，参照用として大いに役立ち確認も比較的容易であったそうである．

東京天文台では直ちに確認の手配をしたが，天候のため確認は別項のとおり 12 日夜の岡山での観測を待たねばならなかった．岡山で確認されると直ちに天文電報中央局へ「ケフェウス座に桑野氏が新星発見」という電報が打電されたのはいうまでもない．この新星の位置は，

赤経　22時02分46.80秒
赤緯　+53度15分47.7秒　} (1950.0)

であって，極大光度の直後のようであった．

（香西洋樹）

訂正とお詫び——本誌8月号の各頁の番号づけが目次を含めて100頁ずつ違っていました．皆様に迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます．

正しくは，8月号は199頁よりはじまり226頁でおわりとなります．また目次は月報アルバム……202 頁，……，天象欄……223 頁です．

1971 年 7 月の太陽黒点（g, f）（東京天文台）

1	—,	—	6	6,	62	11	3,	35	16	7,	91	21	8,	91	26	—,	—
2	—,	—	7	5,	60	12	4,	72	17	10,	76	22	—,	—	27	7,	51
3	—,	—	8	5,	50	13	5,	59	18	8,	87	23	—,	—	28	7,	44
4	6,	111	9	4,	37	14	6,	63	19	9,	97	24	10,	72	29	6,	48
5	5,	82	10	3,	34	15	—,	—	20	7,	87	25	10,	43	30	9,	47
(相対数月平均値：93.5)															31	7,	46

昭和46年8月20日　印刷発行
定価 175 円
編集兼発行人　〒181 東京都三鷹市東京天文台内　森本雅樹
印刷所　〒112 東京都文京区水道2-7-5　啓文堂松本印刷
発行所　〒181 東京都三鷹市東京天文台内　社団法人 日本天文学会
電話武蔵野 31局 (0422-31) 1359　振替口座東京 13595